

2	■	■
3	5.1秒	みなさん、こんにちは。 参考書選びは勉強においてとても重要です。
4	14.1秒	イマイチな参考書を使うと大幅に時間も労力もロスします。 最初から適切なものを選びたいけど、参考書がいっぱいあるとなかなか難しいです。 今回はそんな問題を解決するテーマとなっています。
5	8.7秒	この「学ぶ方法を学ぶチャンネル」では様々な文献から、あなたの勉強にすぐに役立つ情報を紹介しています。
6	14.9秒	今日の参考文献は、山田浩司(やまだ こうじ)さんの『10万人が難関資格試験を突破した 受かる勉強33のルール』、テーマはそこから、「参考書選び3つのポイントとは？」をご紹介します。
7	11.7秒	山田さんは通信制の資格試験予備校の経営者であり講師もしています。非常に高い合格率を誇り、教え子は累計10万人を超えています。
8	12.5秒	この本は、山田さんが考える33個の効果的な勉強法が、海外の研究なども引用されながら著された一冊です。 ぜひ最後まで見て、勉強に役立ててください。
9	■	■
10	4.5秒	今日の結論です。「参考書選び3つの最大のポイント」とはこちらです。
11	10.7秒	1. 厚くなく、薄いこと。 2. 白黒や一色刷りではなく、カラーであること。 3. 電子書籍ではなく、紙であること。
12	7.9秒	なぜこの3点で適切な参考書を選ぶことができるのか？ 知ればきっとあなたの勉強ライフに役立ちます！
13	■	■
14	15.1秒	一つ目「薄いこと」のお話です。 最大の理由は「薄い参考書は重要事項のみが記載されていることが多いため」です。 厚い参考書では、それほど重要ではない項目にもページを割くことになります。
15	18.2秒	特に初学者は、参考書の中で「重要な部分」と「そうでない部分」の判別ができません。資格試験に出てくる問題の6～7割は、重要ポイントから出題され、大概の試験はその重要ポイントで満点を取れば合格します。
16	9.3秒	このことから、特に最初は薄い参考書を使用しましょう。 厚い参考書は学習が進んでから手を付ける感じですね。
17	■	■
18	13.1秒	2つ目「白黒や一色刷りではなく、カラーであること」の説明です。 120人の被験者に対して、カラーの画像とグレースケールの画像のどちらの内容をより長く覚えていられるかを調査しました。
19	11.8秒	結果は、グレースケールの画像より、カラーの画像の方が、5%多く覚えていられることが分かりました。 きっと多くの人は、カラーの本の内容を覚えている経験があるかと思います。
20	12.9秒	一色刷りの本より、カラーで印刷された本は値段が高い事が多いですが、「時間と記憶の定着」が僅かなお金で買えるのですから、必ずカラーの参考書を使いましょう。
21	■	■
22	11.3秒	3つ目「電子書籍ではなく、紙であること。」の論拠をご説明します。 ノルウェーのスタヴァルゲン大学で行われた研究を紹介します。
23	13.9秒	72人の高校生を二つのグループに分けて、片方は紙で、もう片方はパソコンのPDFで同じ文書を読ませたところ、パソコンのグループの方が、読解力テストの成績がわずかに悪くなったそうです。
24	19.5秒	電子書籍で成績が悪くなった理由としては、「本のどのあたりを読んでいるのかが視覚的・感覚的に分かり辛いこと」「文章の全体像が見えにくいこと、今読んでいるのが前提なのか結論なのかが分かりにくくなることなど」が原因として考えられています。
25	9.2秒	なので、勉強に置いて、電子書籍は補助的な使用に留め、必ず紙の本を主に使用しましょう。
26	■	■
27	10.8秒	最後までご覧いただき、ありがとうございます。 感想などをコメント欄に書いていただければ嬉しいです。 また次の動画でお会いしましょう。
28	■	■